

新健康管理／生活習慣病管理支援システムの F-Secure 製セキュリティソフトへの対応について

F-Secure（エフセキュア）製セキュリティソフト<<以下、セキュリティソフト>>をご利用のお客様において、新健康管理／生活習慣病管理支援システム<<以下、弊社システム>>が動作しないことがある点についてご迷惑をおかけしております。

このたびセキュリティソフトと弊社システムが共存する PC の環境での動作確認を行い、弊社システムをセキュリティソフトの影響を受けず動作させる設定を確認できました。

つきましては、お手数をおかけいたしますが、次ページ以降に示す方法での設定をお願いいたします。

なお、次ページ以降に示す設定手順書は後述する F-Secure 製の 2 つのソフトウェアの最新バージョンでの設定方法であり、過去および将来の F-Secure 製ソフトウェアすべてにまで適用可能ではないことをご了解願います。

また、弊社システムが、何らかの原因でウイルス感染する可能性があることもご了解願います。

セキュリティソフトと弊社システムを共存させる場合の設定などについて

セキュリティソフトと弊社システムを共存させる場合の設定などについては、各ソフト・システムのインストール順序や稼動状況によって対応が異なります。

- A. 弊社システムが先にインストールされている PC にセキュリティソフトをインストール
- B. セキュリティソフトが先にインストールされている PC に弊社システムをインストール
- C. 既に両ソフト・システムともインストールし、動作させた（弊社システムへの障害はまだ無い）
- D. 既に両ソフト・システムともインストールし、動作させた（弊社システムに障害が発生）

なお、ここでいうセキュリティソフトは、以下の2つのソフトの説明となります。この2つのソフトの画面表示は同一ではありませんが、ほぼ同じメニューで設定可能となっています。

【本書が対応するソフト】

- F-Secure Internet Security 2011
- F-Secure Anti-Virus 2011

また、F-Secure 社製のほかのソフトについては、画面や設定方法が異なることがあります。

以下、Windows XP での設定手順を示します。

Windows Vista や Windows7 では表示などが異なりますが、適宜読み替えをお願いいたします。

A. 弊社システムが先にインストールされている PC にセキュリティソフトをインストール

この場合は、セキュリティソフトをインストールしてから弊社システムを起動する前までの間に以下の手順を行うことで対応可能です。

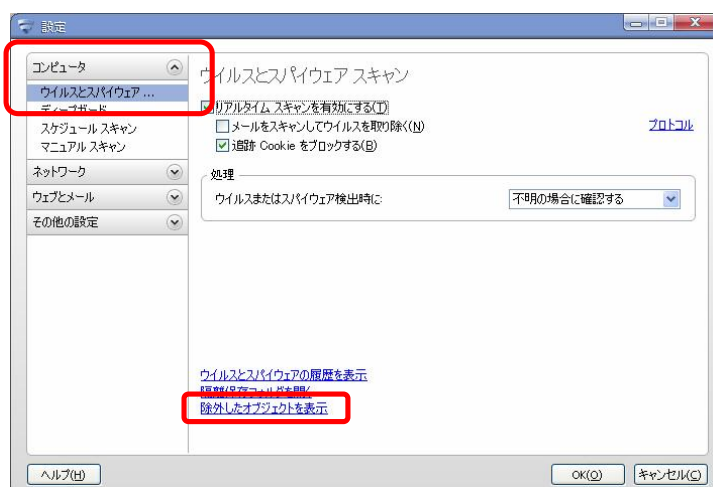
① セキュリティソフトのメイン画面を開きます。

- 1) Windows のデスクトップにあるセキュリティソフトのアイコンのダブルクリック
- 2) Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [F-Secure (ソフト名)] → (ソフト名) を開く] を選択
- 3) 画面右下の F-Secure のアイコンを右クリックして “ F-Secure (ソフト名) を開く ” を選択

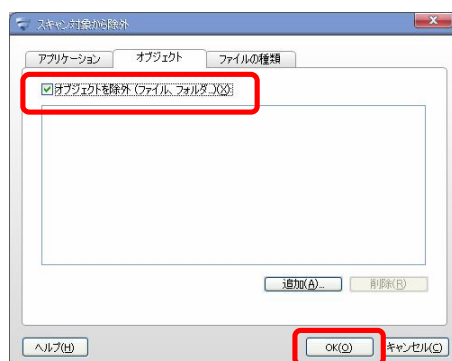
② 「設定」を押し、設定画面を開きます。



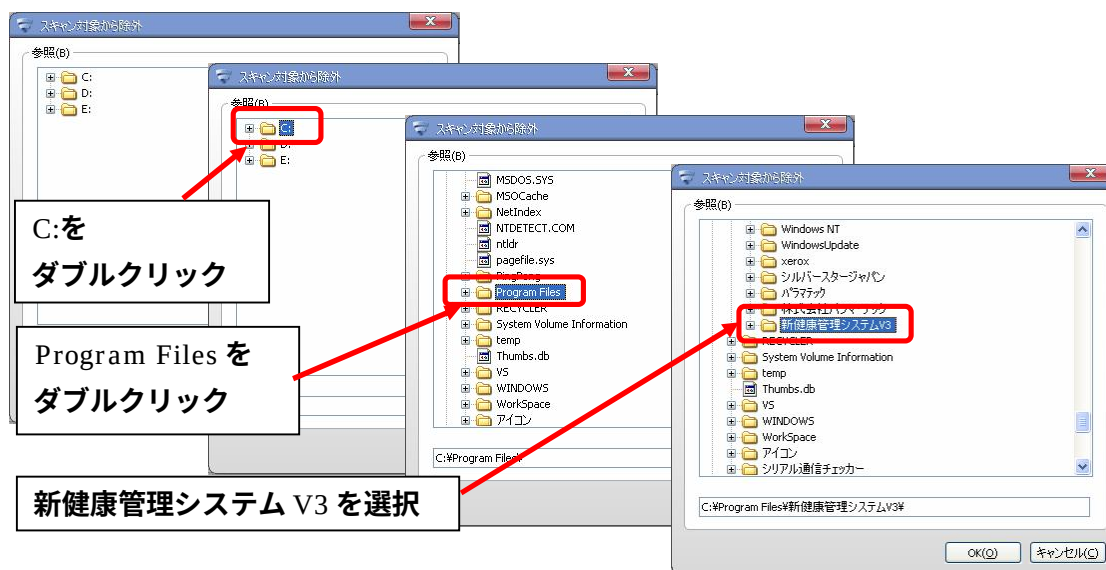
③ 設定画面左にある「コンピュータ」の欄の「ウイルスとスパイウェア スキャン」を選び、下部中央にある“除外したオブジェクトを表示”をクリックします。



- ④ 開いた画面の上部中央にある「オブジェクト」のタブをクリックします。表示された画面の上方にある「オブジェクトを除外（ファイル、フォルダ...）」の左にあるチェックボックスをクリックしてチェックされた状態にすると画面の下にある「追加」ボタンがアクティブになるので、「追加」を押してファイルやフォルダを参照する画面を表示させます。

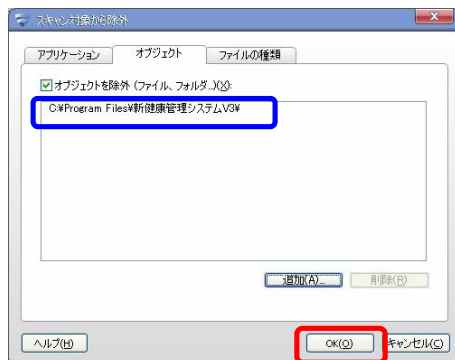


- ⑤ 弊社システムがインストールされているフォルダを設定します。弊社の初期設定のままで弊社システムをインストールしている場合は、表でソフト別に示すフォルダを探して指定された状態にして下部の「OK」を押します（ここでは例として、新健康管理システム V3 での指定例を説明します）。
【なお、弊社の初期設定以外で弊社システムをインストールした場合は、お手数ですがインストールした場所をエクスプローラなどで予めインストールした場所を調べて確認してください】。

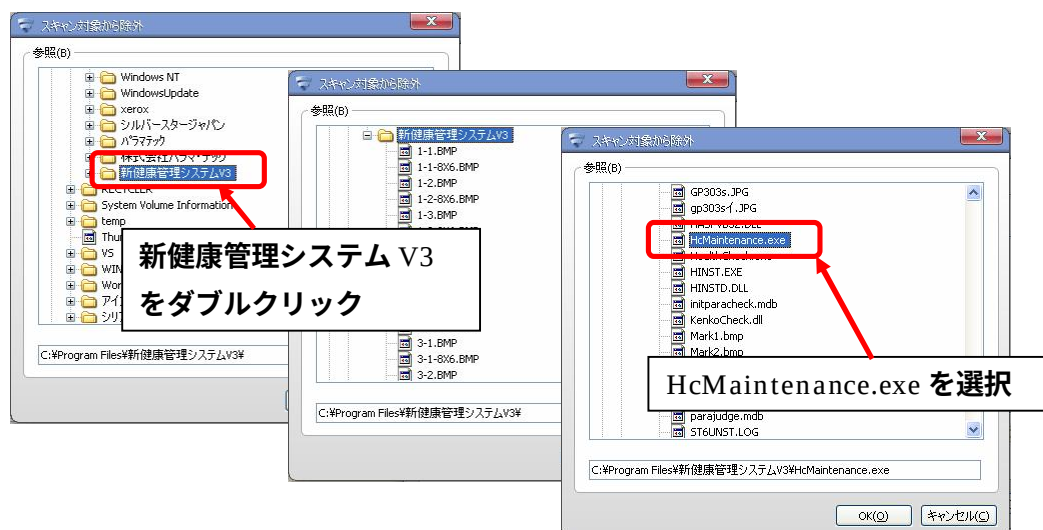


弊社システムの名前	指定するフォルダの場所（初期設定でインストールの場合）
新健康管理システム V3	C:\Program Files\新健康管理システム V3
生活習慣病管理支援システム V3	C:\Program Files\生活習慣病管理支援システム V3
新健康管理システム V4	C:\Program Files\新健康管理システム V4 または、C:\新健康管理システム V4
生活習慣病管理支援システム V4	C:\Program Files\生活習慣病管理システム V4 または、C:\生活習慣病管理システム V4

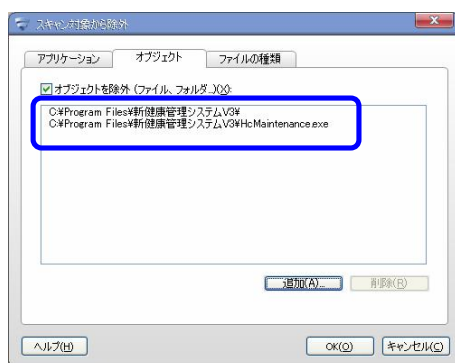
- ⑥ 表示された画面に、⑤で説明したフォルダの場所が表示されていることを確認します。表示が確認できたら、再度画面の下にある「追加」ボタンを押してファイルやフォルダを参照する画面を表示させます。



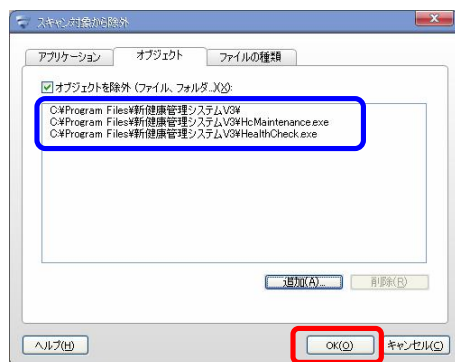
- ⑦ 通常は⑤だけで十分なのですが、念のため弊社システムのうち重要なプログラムを追加して指定します。⑤で指定したフォルダを再度指定し、ここでダブルクリックします。するとフォルダ内のファイルの一覧が表示されます。この中にある”HcMaintenance.exe”を⑤のときと同様に指定された状態にして下部の「OK」を押します。



- ⑧ 表示された画面で、⑥のときの表示に加え、⑥の表示のフォルダ内にある”HcMaintenance.exe”が表示されていることを確認します（表示順は不問です）。表示が確認できたら、再度画面の下にある「追加」ボタンを押してファイルやフォルダを参照する画面を表示させます。



- ⑨ ⑦と同様の手順で、次は”HealthCheck.exe”を⑤のときと同様に指定された状態にして下部の [OK] を押します。
- ⑩ 表示された画面で、⑧のときの表示に加え、”HcMaintenance.exe”と同じフォルダにある”HealthCheck.exe”が表示されていることを確認します（表示順は不問です）。表示が確認できたら、下部にある [OK] を押します。



- ⑪ 設定画面の下部にある [OK] を押します（設定画面はメイン画面の裏に隠れることがあるので注意してください）。
- ⑫ メイン画面の右下にある [閉じる] を押して、メイン画面を閉じます。



- ⑬ 弊社システムを起動させ、動作することを確認します。特に、測定履歴検索や、設定＆管理メニューが動作することをご確認ください。

B.セキュリティソフトが先にインストールされている PC に弊社システムをインストール

この場合は、以下の手順をおこないます。

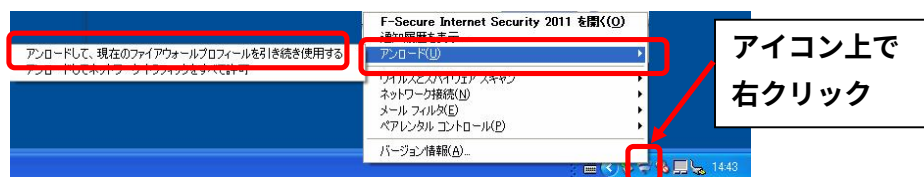
1. セキュリティソフトを停止させます。
2. 弊社システムのインストールを行った後、再度セキュリティソフトを起動します
3. 前述の A.(p.3～p.6)で実施した手順を行います。

1. の停止方法には2つの方法があります。

【方法1】

◎画面右下の F-Secure のアイコンを右クリックします。

※ F-Secure Internet Security 2011 の場合は、“アンロード”を選んだ後に表示される2つの項目のうち“アンロードして、現在のファイアウォールプロファイルを引き続き使用する”を選択



※ F-Secure Anti-Virus 2011 の場合は、“アンロード”を選択



【方法2】

① セキュリティソフトのメイン画面を開きます。

- 1) Windows のデスクトップにあるセキュリティソフトのアイコンのダブルクリック
- 2) Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [F-Secure (ソフト名)] → (ソフト名) を開く] を選択
- 3) 画面右下の F-Secure のアイコンを右クリックして“ F-Secure (ソフト名) を開く ”を選択

② メイン画面内の「ステータス」を押し、ステータス画面を開きます。



- ③ “スキャン”と書かれた項目の全て、“ディープガード”、“アプリケーション通信制御”(F-Secure Internet Security のみ)の項目の横にあるスライドスイッチを左に動かし、無効に設定します。



- ④ メイン画面の右下にある「閉じる」を押して、メイン画面を閉じます。

☆【方式2】の場合は、再度セキュリティソフトを起動した際に③で設定した項目が元の設定値に戻っているかご確認ください。戻っていない場合は、元の設定に戻してください。

C.既に両ソフト・システムともインストールし、動作させた（弊社システムへの障害はまだ無い）

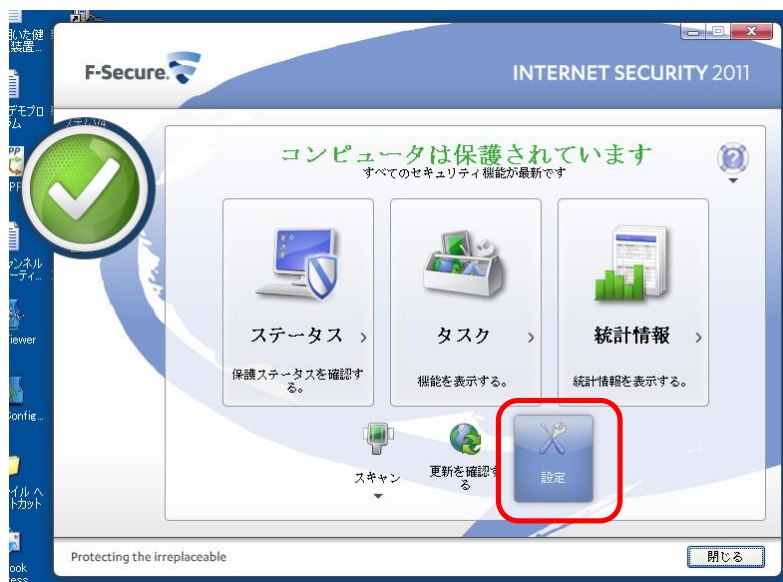
この場合は、至急以下の手順を実施して、セキュリティソフトのからの誤認識状態を解消する必要があります。

1. セキュリティソフトを起動し、誤検出の有無を確認します。誤検出があれば復元作業を行います。
2. 前述の A.(p.3～p.6)で実施した手順を行います。

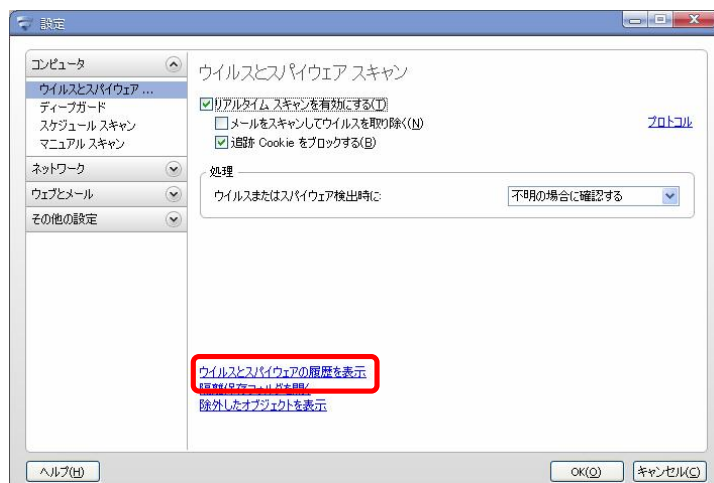
① セキュリティソフトのメイン画面を開きます。

- 1) Windows のデスクトップにあるセキュリティソフトのアイコンのダブルクリック
- 2) Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [F-Secure (ソフト名)] → (ソフト名) を開く] を選択
- 3) 画面右下の F-Secure のアイコンを右クリックして“ F-Secure (ソフト名) を開く ”を選択

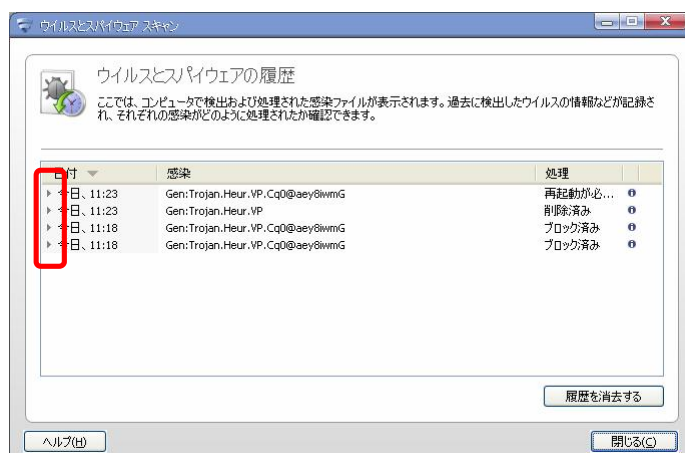
② 「設定」を押し、設定画面を開きます。



③ 設定画面左にある「コンピュータ」の欄の「ウイルスとスパイウェア スキャン」を開き、下部中央にある“ウイルスとスパイウェアの履歴を表示”をクリックします。



- ④ 履歴の一覧が表示されるので、この履歴を確認していきます。各履歴の左端にある▶をクリックして、詳細を表示させます。

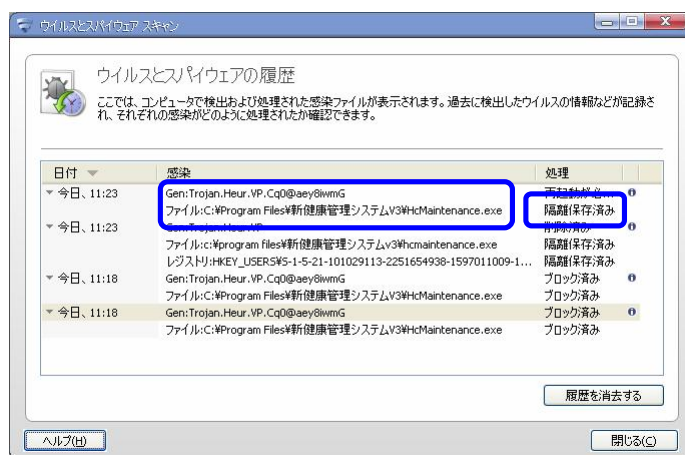


- ⑤ 弊社システムの名前（実際はフォルダ名）や”HealthCheck.exe”、”HcMaintenance.exe”の有無を確認し、もしあれば処理欄を見て「隔離保存済み」と記載されているかどうかを確認します。

もし「隔離保存済み」であれば、感染欄に記載の名前をメモし、右下の【閉じる】を押して画面を閉じ、⑥に進みます。

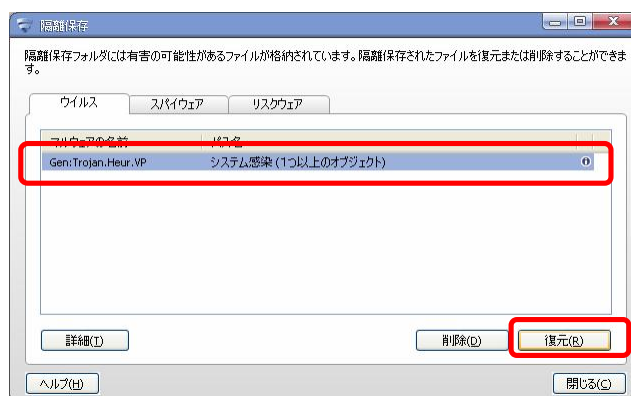
もし無ければ、以下の手順を行います。

- (1)右下にある【閉じる】を押して画面を閉じます。
- (2)設定画面の下部にある【OK】を押します（設定画面はメイン画面の裏に隠れることがあるので注意してください）
- (3)メイン画面の右下にある【閉じる】を押して、メイン画面を閉じます。
- (4)これ以降に記載の作業は行わず、A. (p.3～p.6)に進んでください。



- ⑥ ③で示した設定画面（設定画面はメイン画面の裏に隠れることがあるので注意してください）に戻るため、下部中央にある“隔離保存フォルダを開く”をクリックします。

- ⑦ 隔離保存画面の“ウイルス”“スパイウェア”“リスクウェア”のいずれかに⑤でメモした名前があるので、それを選択して[復元]を押します。もし複数ある場合は、一つ一つを選択した後で[詳細]を押して弊社システムの名前(実際はフォルダ名)や”HealthCheck.exe”、”HcMaintenance.exe”などの名前で復元する項目を選択します。



- ⑧ 復元されると、下記の画面が表示されます。[OK] を押してこの画面を閉じ、続いて設定画面の下部にある [OK] を押し（設定画面はメイン画面の裏に隠れることがあるので注意してください）ます。



- ⑨ メイン画面の右下にある[閉じる]を押して、メイン画面を閉じます。

- ⑩ A. (p.3～p.6)に進んでください。

D.既に両ソフト・システムともインストールし、動作させた（弊社システムに障害が発生）

この場合についても C.(p.9～p.11)の手順を実施しますが、それでも障害が解消しない場合は弊社までお問い合わせ願います。

【お問合せ先】

株式会社パラマ・テック 電話番号：092-623-0813
F A X：092-623-0814

以上